



太平洋を結ぶ長い交流を育てよう

県・アメリカオレゴン州友好県州締結



富山県と米国オレゴン州の友好県州締結の調印式が、十月十九日、富山県民会館で行われ、中沖知事とバーバラ・ロバーツ同州知事が、「相互理解と友好親善を増進し、相互交流を通じて日米関係の拡大に貢献する」ことを約束した協定書に署名しました。国際立県をめざす富山県の海外との友好提携は、中国遼寧省、ブラジルサンパウロ州に続き三番目となります。

調印式後、両知事は記者会見し、「人的交流を中心に、息の長い交流を続けたい」と述べ、今後の交流促進に意欲を示しました。また、ロバーツ知事は富山県の印象を「山が多く海に面しているなど、地形がよく似ている。富山にいと、オレゴンに戻ったような感じだ」と話し、親しみを表しました。

県はオレゴン州と一九八九年から交流をスタートさせ、昨年からは職員相互派遣などを行っており、来年五月には、県青年・婦人の翼を派遣し交流をさらに発展させる予定です。